

1. 目的

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築を図るとともに、利用者の費用負担の軽減及び、医師・ケアマネジャー双方の負担を軽減するために環境整備を再度行うことを目的としています。

2. 活用方法とルール

A. 活用方法

- ①在宅療養中の利用者に関する主治医（かかりつけ医）とケアマネジャーの連携シートです。在宅で生活する利用者を支援するために、主治医とケアマネジャーが必要な情報を共有するために使用します。
また、ケアマネジャーが立案するケアプランを医療ニーズに対応したものにしていくためにも使用します。
- ②主治医からケアマネジャーへの連絡の際などに使用します。また、利用者の主治医への報告・連絡・相談を行う際に使用します。

B. ルール

- ①連携シート及び切手を貼った返信用封筒を利用者さんが受診の際に持参する、もしくはケアマネジャーが直接持参します。
- ②費用は、基本的には無料とします。その他別紙等で詳細な医療情報等のやり取りが必要な場合は、患者さんにご説明の上必要に応じて情報提供料にてご対応いただきますようよろしくお願いいたします。
- ③到着後できるだけ早く返信用封筒により、ケアマネジャーまでご返信いただきますようよろしくお願いいたします。